

平成 31 年度(令和元年度) 第 4 回古賀市図書館協議会会議録

会議名称：平成 31 年度(令和元年度)第 4 回古賀市図書館協議会

日 時：令和 2 年 2 月 18 日(火)14 時～15 時 30 分

場 所：古賀市役所第一庁舎 4 階第 2 委員会室

主な議題：①平成 31 年度(令和元年度)後期(10 月～2 月)事業報告について
②今後の運営について

傍 聴 者：0 名

出 席 者：安部 由美子委員 村山 美和子委員 鈴木 章委員 河村 正彦委員
久池井 良人委員 碓 幸子委員 亀川 代志子委員 諸井 ゆき子委員
以上 8 名

欠 席 者：0 名

事 務 局：5 名

配布資料：①レジュメ

②資料 1 平成 31 年度(令和元年度)図書館事業報告(4 月～2 月)

③資料 2 平成 27 年度～31 年度(令和元年度) 図書館の利用状況(4 月～1 月)比較

④資料 3 令和 2 年度図書館の運営方針と活動目標

1 開会のことば

(事務局)

こんにちは、図書館係長の前田と申します。

本日はご多用な中、古賀市図書館協議会にお集まりいただきましてありがとうございます。開催の前に一つお願いがございます。本日会議終了後に、皆様の集合写真を撮らせていただきたいと思いますと考えております。記録用、今後広報等に載せる機会があれば使わせていただきたいと思いますので、終了後にお時間の方お願いいたします。

資料の確認をさせていただきます。1 枚目、レジュメ、資料 1、平成 31 年度(令和元年度)図書館事業報告、4 月から 2 月分。資料 2、平成 27 年度から平成 31 年度(令和元年度)図書館の利用状況比較(4 月から 1 月分)になります。資料 3、令和 2 年度図書館の運営方針と活動目標になります。お手元にごございますでしょうか。

本日は第 2 委員会室において、会議を進めさせていただきます。本会議につきましては、会議の公開制度に基づきまして傍聴席を設けております。会議の内容につきましては、古賀市のホームページ上に公開されますので御了承ください。発言されるときはマイクのスイッチをオンにしてからお話してください。終わりましたらオフにさせていただくようお願いいたします。スムーズな議事録の作成のために御協力をよろしくお願いいたします。

それでは、開会の言葉を文化課長の柴田より申し上げます。

(課 長)

皆さんこんにちは。早いもので、令和元年度最後の協議会ということになっております。寒い中でありますけれども、本日の御協議よろしくお願ひしたいと思います。では、平成 31 年度(令和元年度)第 4 回古賀市図書館協議会を始めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

2 部長挨拶

(事務局)

続きまして、教育部長の青谷より御挨拶申し上げます。

(部 長)

皆さんこんにちは。教育部長の青谷です。本日は、皆様御多忙の中、令和元年度最後となります第4回目の古賀市図書館協議会に御出席をいただきましてありがとうございます。令和元年度は、図書館は移転開館25年目となります節目の年度でございました。令和元年10月に開催しました図書館まつりもおかげさまで大盛況でございました。改めて皆様には、本市の図書館運営にご協力、御尽力をいただいておりますことに対しまして感謝を申し上げたいと思っております。

令和元年12月の市議会においては、2人の議員から図書館に関します一般質問がございました。この場をお借りして、若干簡単に御報告をさせていただければと思います。まずお1人からは、最近、図書館の利用が減っている現象が見られているという状況の中、利用促進に向けた取組、対応について及びまちづくりを支える図書館にどう取り組むのかという趣旨での御質問がございました。図書館、リーパスプラザを含みますいわゆる生涯学習ゾーンについては、今後JR古賀駅の東口の整備と連動して充実していく必要がございますことや、今年度取り組みました図書館入り口に、例えば、ラグビーの福岡選手の情報コーナーを設けること、またサンリブ古賀店にも返却ポストを設置するなど、図書館にできるだけ市民の皆様が関心を持ってもらえるように取り組んでいるということをその場でお伝えさせていただいております。

また、特に来年度から小学生で使います教科書の中にQRコードもついてくるといようなことでもございまして、今後さらにIT化が進むということも念頭に入れていかなければいけないというようにお話を議会の場でさせていただいたところでございます。

2人目の議員からは、令和元年6月に施行されました読書バリアフリー法の取組について御質問がございました。本市の図書館においては点字図書、録音図書、大活字本等を準備しており、デージー再生機や拡大読書器なども備えながら、障害の有無に関わらず、どんな方でも読書を楽しめるように配慮を行っていくということで、今後も引き続きニーズに応じた読書環境の整備に努めていくことをお答えしたところでございます。

このように、市議会議員の皆様におかれましても、図書館に関しましては非常に関心を持っておられますので、議員からいただいた御意見については、本日お集まりいただいております図書館協議会の皆様の御意見とあわせて、今後のよりよい図書館運営につなげていきたいと考えております。

本日の協議会につきましては、レジュメにございますように、特に令和元年度後期の事業報告と今後の運営について協議をいただきたいと思いますと思っております。ぜひ委員の皆様からいろんな御意見をいただきたいと思いますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 会長挨拶

(事務局)

次に鈴木会長より御挨拶をお願いいたします。

(会 長)

改めまして皆さんこんにちは。先日、学生に「行きたくなる図書館とはどのような図書館か」と聞きました。量的、質的にいろいろ意見がありました。量の面から言うと、印刷メディア、紙の図書、電子メディア等の充実した図書館。

質的には、安心してやすらぐ、雰囲気の良い図書館。次に、ユニークなイベント、新刊書あるいはいろんな層のニーズに即したいろんな本や情報がある図書館。最後にカウンターにいらっしゃる司書さんのレファレンス・サービスが行き届く、言ったら答えてくれる、非常に親しみやすくいろんな情報を答えてくれる、親身になって答えて利用者のために対応してくれる人がいる、そういった三つの質的な面が揃う図書館が総合的に行きたくなる図書館ではないかと言っていました。

先ほど部長さんから、読書バリアフリー法、図書館利用の減少状態等も含めて、本日は充実した協議、話し合いになることを願っております。よろしくお願いします。

(事務局) ありがとうございます。恐れ入りますが、青谷教育部長につきましては、本日公務のためここで退席させていただきます。

4 協議等

(1) 平成 31 年度(令和元年度)後期(10 月～2 月)事業報告について

(事務局) 協議に入ります。ここからは鈴木会長、久池井副会長、進行をお願いいたします。

(会 長) 協議内容について、これまでの事業報告と令和 2 年度に向けた今後の運営のあり方についてということです。幾つか課題があり、指摘もあっているようですので、それも含めて考えていきたいと思います。

最初の協議内容として、令和元年度後期 10 月から 2 月までの事業報告について、協議に入ります。それでは事務局のほう、御説明をお願いいたします。

(事務局) 資料 1、平成 31 年度(令和元年度)図書館事業報告(4 月～2 月)を御覧ください。後期、10 月からになりますが、前回の会議にて図書館まつりまでは口頭で説明し、御報告させていただいておりますので、それ以降について御報告させていただきます。

11 月 2 日、ビブリオバトル IN 古賀市立図書館を実施しました。今回はバトラー 5 人、観覧者 8 人で、他の地域からの参加もございました。全体の感想としましては、「読んでみたくなった本が何冊もありよかった」、「楽しかった」という感想が 1 番多くありましたが、一方では参加者が少なく残念という感想もありました。ビブリオバトルにつきましては、平成 30 年度もいろいろと御意見をいただきまして、令和元年度も開催したところですが、参加者がなかなか増えなかったという点においては、図書館としても今後の課題であると感じております。今回は終了後に観覧者も含め、皆様に残っていただきまして、お茶を飲みながらおすすめの本の紹介など自由に情報交換を行っていただきました。参加者同士の交流も生まれた点は良かったのではないかなと思っております。

12 月 22 日、図書司書による小学生むけおはなし会を実施しました。クリスマスにちなんだ手遊びや、絵本の読み聞かせを行い、7 人の参加がありました。

1 月 19 日、古賀市親子読書会「第 51 回古賀市親子読書のつどい」を実施しました。親子読書会員の小学生による読書体験作文の発表や参加者全員による自己紹介カードの交換、おすすめの本の紹介、手遊びや音楽に合わせた体操などを行い、楽しく交流することができました。子ども 82 人、大人 75 人、計 157 人の参加がありました。

2 月 1 日、「暮らしの講座 野菜づくりのコツと裏ワザ その 5」としまして、講師に農山

漁村文化協会の佐藤圭さんをお迎えして実施いたしました。イノシシやカラスなどの獣害駆除の方法、棚づくりをしなくて良いブドウの栽培、野菜の収穫が格段にあがる身近な材料を使った資材のつくり方など、楽しく教えていただきました。参加者が熱心にメモをとる様子が見られ、31 人の方が参加されました。参加者は普段図書館に来られない方も多いような印象でしたが、図書館の蔵書を紹介しながらお話をしていただいたことで、多くの方が図書を借りて帰られ、図書館の利用促進にもつながったのではと思っております。

同じく 2 月 1 日の夜、子ども向けの事業として「ナイトミュージアム&ライブラリー」を歴史資料館との連携で実施しました。おばけに乗っ取られた図書館と歴史資料館で王子を救出するためのミッションをクリアしていくという設定です。真っ暗にした図書館では、子ども達が懐中電灯を照らしながらグループごとにヒントとなる絵本を探し出し、職員も黒いマントを着用して行いました。49 名の参加で、今年度で 4 年目になりましたが、とても人気が高く、申し込みがすぐにいっぱいになっております。

2 月 5 日、古賀市立図書館キャラクター「ことちゃん」の着ぐるみを連れまして、福岡県立古賀特別支援学校に伺いました。31 人の小学 1 年生に対し、読書ノートを配布し、2 年生 35 人も一緒に参加していただいております。県立の学校ですのであまり交流がありませんが、これを機にぜひ市立図書館にも来てくださいということで御案内もさせていただいております。ここまでは既に終わりました事業報告になります。3 月には、8 日間休館いたしまして、蔵書点検を予定しております。

2 枚目になります。月例行事ですが、4 月から 1 月までの参加人数と 1 回平均の人数を記載しております。年齢に応じた各おはなし会、毎月の名画会などは定着しております、たくさんの方に参加していただいております。人数は御覧のとおりです。

ブックスタートは子育て支援課と連携しながら、絵本の読み聞かせや親子で本を読むことの大切さについてお話をしております。親子で 409 人の参加がありました。

セカンドブックの配布につきましては、毎月 3 歳児健診の会場で配りましたが、12 月生まれまでで 412 人中 377 人の子どもに渡すことができいております。今のところは 92%の方にお渡しできております。

次に、その他の行事です。子ども映画会は夏休みなどを中心に 6 回開催し、合計 89 人、平均 14.8 人の参加がありました。

平成 29 年度から実施しております学校図書館市民開放用一般図書の配本は、1 月までに各学校へ合計 2,502 冊となっております。

1 月 26 日、福岡県教育委員会主催の「子どもの読書活動交流・研修会」が開催され、「古賀市の子どもの読書活動推進の取組について」ということで、古賀市立図書館と古賀東小学校による実践発表を行いました。市立図書館としましては第 3 次古賀市子ども読書活動推進計画についてと、古賀市中学生読書サポーター事業の取組について発表を行いました。古賀市中学生読書サポーター事業については、図書館での講座終了後の取組として行った図書館まつりでのおはなし会や子どもわくわくフェスタの「絵本の読み聞かせ」の部屋での実践、各学校に戻って行った POP づくりやおすすめの本のコーナーづくりの様子など、読書の楽しさを伝えるための取組を紹介することができました。

移転開館 25 周年記念の図書館バックを数量限定で製作しまして、図書館まつりから販売を開始しております。

星印がついている事業は、古賀市介護支援課が行っております高齢者外出促進事業の対

象イベントとしてシールをお配りして実施しております。以上が事業の報告になります。

(会 長) ありがとうございます。まず資料1の事業報告、10月から、図書館まつり等大きなイベント等も入っていますし、最後に言われました研修会での発表等もあっているようです。このことも含めて、いろんな意見をお聞きしながら進めていきたいと思います。1枚目あたりはどうでしょうか。気づかれたこと、質問等どうぞ。村山委員さん。

(村山委員) 私は11月2日のビブリオバトルに観覧者として参加いたしました。「申し込みたい」と話しましたところ、「バトラーとしてですか」と言われましたが、非常に自信がなく「観覧者でお願いします」ということで行ってきました。

発表なさった方は皆さん大変おもしろい本をたくさんお読みの方で、聞いていてとても勉強になり、関心が出てきてぜひ読みたいという気持ちになりました。一つドキドキしたところは、プリントを配られまして、「メモ紙かな」と思ったら、どの本が良いか、チャンプ本を決めるために自分の意見を書き込んで提出するためのプリントでした。それが1番最後でわかって、バタバタと書き上げました。前は挙手で決めるような感じで気楽だったんですけども、書くとなるとドキドキいたしました。結果だけ記入ができるものにしていただくと、観覧者も安心して参加できるのではと思います。

バトラーになられた司書の方がいろいろお話しされた後、「私は話がそれほど上手じゃないということがわかりました」と言われて、時間の中で切れ目なくお話するということは大変難しいんだろうなと思いました。私は上手に話されていると思いましたけど、途中で次なんて言おうかと悩んであるようなところがあり、そのことをおっしゃっていたのかなと思いました。司書さんも自ら参加されてすごいなと思いました。

ぜひ、参加人数が少なくても、来年度もやっていただきたいと思います。後で懇談会があり、大変よかったと思いました。自分の立場をお話になったり、自分の読書経験についてお話になったり、他の地域のビブリオバトルはどんなふうに行っているか、参加者はどうやって募っているか等のお話も聞くことができ、残ってよかったなと思います。繰り返になりますが、参加者が少なくても、ぜひ来年もやっていただきたいと思います。

(会 長) 関連で何か。どうぞ、碓委員さん。

(碓委員) 私は図書館のビブリオバトルは行けなかったんですけども、小学校のビブリオバトルを見ました。子ども達が1分以内で上手に内容を発表されていました。各小学校でもされているそうなので、小学校代表で2名ずつぐらいお願いするとかいかがでしょうか。

また、数年前に古賀竟成館高校の文化祭に行ったときに、図書クラブだと思いますけど、図書クイズというのが廊下に貼ってあり、知らない本ばかりでした。若い人たちがどんな本を読んでいるのかもわかりますし、きっと高校生とかだと上手なバトラーになれるのではと思います。市内には竟成館高校と玄界高校と2校あります。スポーツのクラブは対外試合とかありますけれども、文化部はなかなかそういったこともないかもしれないので、高校生の参加を呼びかけたらどうかと思いました。

(会 長) 関連で何かございましたら。

(副会長) 私はビブリオバトルに観覧者として申し込んでいて、日程に近くなってから用事で行けなくなりました。人数が少ないと聞いて自分が参加しないというのが心苦しかったんですけども、今お話を聞いて、中身が非常によかったということで安心しました。

ただ、ビブリオバトルは、ハードルを上げ過ぎないことが1番大事だと思います。ただでさえどきどきして参加する中で、記入したものを提出となると、行くのをためらう気持ちになり、広がりがなくなると思います。お互いに本を紹介し合いながら、そういう本もあるのかとか、自分も読みたいと思う本の輪を広げていくことが1番大事だと思います。ビブリオバトルも優劣のほうへあまり力点が行かないようにお願いしたいと思います。

気になるのは、子ども達の中でも、オープンな場だったらいいんですけども、判定して「あんなにがんばったのに、自分には票が集まらなかったんじゃないか」と思わせることです。他の地区でも、参加者が少ないとか、同じ悩みがあるのではと思います。解決方法や判定の際の配慮、そこら辺は何か参考になるものがあるんじゃないかなと思います。

今回、後で交流会を持たれたということで、そちらのほうこそ非常に大事じゃないかと思います。参加者が本を実際に持ってきてお互いに交流する場を是非来年度もつくっていただきたいと思います。これは人を集めるところが1番大事ではないかなと思います。学校との連携、学校の先生方とも協力関係を持って、子ども達が誘い水になって参加者が増える取組になればと思います。

(会 長) 私も同感で、ビブリオバトルは図書館や本への誘いにとって、とても大事な良い活動だと思います。だからこそ、やり方を工夫しなければならないということもあると思います。例えば、私が実際にした際は、4人、前に出て発表した後、参加者と反対のほうを向いてもらい、参加者に手を挙げてもらいました。結果として順位は決めざるを得ないんですけども、誰が手を挙げてもわからないように、だけでも、結果一番多かったのはこの方ですというようなやり方です。少し工夫すれば、参加者も、発表した人も納得できるような内容を工夫すると良いのではと思います。

ところで、そのプリントの意図はどういうことだったんでしょうか。

(事務局) 見た方の感想が具体的にわかれば良いなということで、具体的に書ける紙を1枚用意してお配りしておりました。言われたように、皆さん御自分用のメモとして書かれていて、最後に「提出です」といった時に、あわてて書き直しておられました。御案内の手際が悪かった部分があったのかなと思います。

(会 長) 最初に説明があれば良かったですね。ビブリオバトル関係で他にいかがですか。はい、安部委員さん。

(安部委員) ビブリオバトルの件、学校でも行っておりますが、先ほどから御意見をいただいているように、バトルということでどうしても、票の違いだとか、そういったところの観点から見ると、厳しい結果が出てしまう子どももいるということで、方法については本当にいろんな工夫がこれから求められるのかなと思っています。

ただ、子ども達が本に対する興味を持つとか関心を高めるという意味では、学校として、

何らかの形で、読書へ誘う取組というのは大事なのかなと思っておりますので、ビブリオバトルをどうするかということも含めて、読書に関する関心をもっと学校としてどのような形で高めていくかということは考えていかななくてはいけないかなと思いました。

(会 長) ありがとうございます。バトル、競争、戦い、このネーミングは私も引っかけますし、そんなネーミングにしなければいいのにとします。それが今、安部委員さんがおっしゃったようなことじゃないかなと思います。だったら、子ども独自、学校独自、図書委員が決めるような別のネーミングでもいいと思います。やり方を若干変えてもいいし、子ども達なりに大いに工夫してするとより良いのではないかと思います。ビブリオバトル関係で何か。なければ違うことについて話を進めますが、よろしいですか。

このページで、他の行事等につきまして、私も聞きたかった東山さんの講演会、本当に残念でならないのですが、他のことが入ってしまいました。ビブリオバトル以外の件で、気になったところ、あるいは感想等がございましたらどうぞ。

(副会長) 2つあります。まず、暮らしの講座の野菜づくりは非常に好評で、私もずっと行っています。5 回目ということで、「リピーターの方もかなりいらっしゃいますね」と講師の方も言われるんですね。

5 回も続いているがゆえの実績と、6、7 回目となると、好評ですけれども聞いている方は何回も聞いたことになりますので、今後はその新しさといいますか、違った面も少し入れていく必要があるかなと思いました。良かったということを前提としてお話していますが、私が知っている方が「図書館もこういったことをされるんですね」と感心されていました。また、本の紹介をして、図書館にもコーナーを設けてあるということから「図書館に関心を持ちました」とか、「積極的な図書館の取組は本当によかったと思います」ということを聞かせていただきました。

講師の先生が結構幅広く活動されていて、他の図書館に行っても野菜づくり講座をされているんですね。私は先日佐賀市立図書館に行ったら、佐藤圭先生がやっぱり野菜づくり講座をしてあって、ということは、非常に好評だから活躍されているんですね。

古賀です場合は、古賀市らしさ、古賀市の特色に応じた何かをちょっと入れるだけでも、非常に古賀市立図書館の取組として光ってくるものが出てくるんじゃないかなと思いました。これからも好評だから続けられると思いますが、続けるがゆえのこれからの改善点ということもまた今後の展開に向けて必要かなということを思いました。

(会 長) ありがとうございます。これについて関連でもしございましたら。いいですか。その他の件でありましたら。

(副会長) もう一つ、この間ナイトミュージアム&ライブラリーに私も参加させていただき、非常に面白かったです。歴史資料館も図書館のスタッフの方々が衣装をつけられて、本当に凝った取組でしたね。子ども達がちゃんと集まった中で、あの DVD は古賀市で作成したものです。船原古墳から何か魔法がかかって、「ミッションをクリアしないとみんなここから出られませんよ」ということで、歴史資料館の中も探検しますし、図書館のほうはグループ毎に行って、ライトで照らしながらミッションになっている本を探し出すんですね。図書

館の中で本を探し出すというのと、夜の図書館での探検気分と二つを味わえると同時に、図書館の職員の方々も館長さんをはじめ、ちゃんと衣装をつけてありましたので、ドキドキ感も味わえるということで、子ども達に図書館に親しみを持ってもらってもらうには良い取組じゃないかなと思いました。

他の図書館でも、例えば夏場に夜の図書館でこわいお話をするとかいろんな取組をされていますが、こういったことをこれからも取り入れて、こんな楽しい取組もしていますということをぜひ紹介してもらいたいなと思います。図書館や歴史資料館がこんなおもしろい取組をしているということを知らなかったという方は結構あるんじゃないかと思います。非常に良い取組でした。

(会 長) 幾つかの行事を話題にする中で、本当にどれも大変ユニークでしかも前向きな、すばらしい内容じゃないかなと思います。だからこそ、もっと知らせること、広報が課題になってくるかなと思います。そういった手だても考えなければいけないようですね。

それでは2枚目、月例行事その他等に話を進めたいと思います。お気づきの点、御質問等ありましたらどうぞ。

その他の中で、ついこの前福岡県教育委員会主催の「子どもの読書活動交流・研修会」で実践発表をされたということで、これは順番ですか。それとも「古賀は特徴的な活動だから是非やってほしい、紹介してほしい」なのか。その辺りどうでしょうか。

(館 長) この件につきましては、福岡県の教育委員会が毎年研修会をやっており、資料提供等を古賀市立図書館もずっと続けてまいりまして、今まで発表していた内容が良いので、ぜひ古賀市にお願いしたいということで依頼がこちらのほうにございまして、それを受けてという形になっております。古賀東小学校も子どもの読書活動優秀実践学校の部で文部科学大臣表彰を受けておりましたので、古賀市の取組という形で発表していただけたらありがたいという趣旨でございました。

(会 長) わかりました。発表内容について、参加者の方の声、激励あるいは批判的なことでも結構ですから、何かございましたか。紹介できることがあったらお願いします。

(館 長) 発表をした後、質疑の時間がほとんどなかったので、私たちの発表した内容について、中身について云々ということはありませんでした。終わった後に、何人かの方からお話をいただいた分については、とてもいい取組をしているということで、子ども達はその事業の中で成長していく様子がわかって良かったとか、組織的に取り組んでいることで、事業が終わった後に子ども達が本の楽しさを広げる活動に発展しているというところが素晴らしいので、こういう取組は良いですねと言われました。

また、事業のなかでやってきたことを順序立てて整理してパワーポイントで発表しておりますので、発表内容を資料として提供させていただきましたので、事業の進め方についても参考になるというような御意見をいただきました。

(会 長) わかりました。古賀東小学校の校長先生もいらっしゃいますので、何か発表された内容でお気づきの点がございましたら。

(安部委員) 昨年度、文部科学大臣表彰をいただいたというところもありまして、古賀東小学校で実践発表、取組についての紹介をしてほしいということで、福岡県教育委員会のほうからの依頼を受けております。

内容としましては、ずっと昭和 30 年代から取り組んでいる「あおまつ」という読書感想文の文集を毎年発行しておりまして、子ども達が書いた読書感想文を 1 冊にまとめる取組について、また、日頃の読み聞かせの活動で、地域の方々のボランティアで多くの方々に協力していただきながら、朝の読み聞かせや昼の読書の活動、ずっと根付いている読書活動についての取組を発表させていただきました。

それと同時に、図書委員会児童が児童に読み聞かせをしているんですが、5 年生の図書委員の女の子が 1 人、読み聞かせを実演するという形で発表をいたしました。

(会 長) ありがとうございます。はい、どうぞ。

(副会長) 私は会場のほうから見せていただきましたが、非常に素晴らしかったです。今、お話がありましたけども、古賀市の場合は、古賀市立図書館と古賀東小学校、学校と図書館が発表されたんですね。学校のほうも教頭先生による発表と、実際子どもが出てきて朗読するんですよ。具体的な取組が非常によくわかる内容でした。

文部科学大臣表彰を受けられていますけれども、ほかの学校以上に取組がなされているなど思ったのは、校内読書活動も 4 回、たんぼぼ週間、あじさい週間、どんぐり週間、雪だるま月間というように、それぞれ取組の名前がついているんですよ。

事細かに学校の取組内容がわかったということと、合わせて、館長さんと図書司書さんが図書館として中学生読書サポーター事業で学校を支援する取組を発表されました。学校と図書館のつながりもよく見える内容だったと思っています。

会場からの質疑応答が余りなかったということですが、発表が非常に充実していたので時間が結構かかり、時間の制限があったものですから、会場から質問を受ける時間が少なかったというのが実情です。

これからは図書館の充実とともに学校図書館の支援が大事になってきますから、これはモデルケースとなるんじゃないかなと思います。学校と図書館をもっと密接にこれからもやっていくべきですし、今回の発表の様子も是非、広くいろんなところにお知らせしていただきたいなと思いました。

(会 長) まとめていただきましてありがとうございます。そのベースは「第 3 次古賀市子ども読書活動推進計画」ですね。それぞれがばらばらにではなく、本当に図書館、全体、市を挙げて子どもの読書活動を推進するというのがこの計画に具体的にあらわれているんですね。それが今のような形となって、公共図書館が学校図書館と連携、お互いに支援していく、そういう現れじゃないかと思います。

子どもが子どもに読み聞かせをするということは、とてもすばらしい実践だと思います。小学生同士でのやり方もあるし、小学生が幼稚園児に、中学生が小学生にという形でやっている例もあります。させられるのではなく、図書委員になりたいという子どもが増えることにつながっていく、一つの例だと思います。

久池井副会長からも、参加者の中からもご意見があったということで、すばらしい実践発表だったんだなということを改めて思いました。ありがとうございました。

それ以外のことで、このページに書かれたことについて何かございましたらどうぞ。よろしいですか。後半も本当にすばらしい実践がいろいろ紹介されたなと改めて思います。また、これからも続けていただきたいと思います。

資料 2、図書館の利用状況等についての説明をお願いします。

(事務局) 資料 2、平成 27 年度から平成 31 年度(令和元年度)図書館の利用状況比較ということで 4 月から 1 月分をまとめております。貸出冊数、貸出人数、入館者数、新規登録数を一覧にして毎回お出ししております。平成 30 年度と比較しますと残念ながら減少しているところが多くなっておりますが、その中でも、新規登録者数、4 番目につきましては微増というところがあります。市民の皆様のニーズを探りながら事業を実施し、新しい利用者の方に登録をしていただいた部分もあるのではないかなということで、今後も周知に努めながら、数になるべく減らないようにということで、努めていきたいなと思っております。以上が利用状況比較になります。

(会 長) ありがとうございます。2 ページにわたって貸出冊数、貸出人数、入館者数等の表がありまして、過去の年度と比較できますので、これについて、感想、御意見、あるいは質問等ございましたらどうぞ。気になったところで、貸出冊数等、1 月がちょっと減っているというようなこともありました。入館者も少ないなと思います。この辺り何かどういう状況だったか説明していただけるとありがたいんですが。

(事務局) 数字が余りにも少ないので、もしかしたら期間の集計ミスがあるかもしれません。早目に資料をつくっていたので、期間が早かったかもしれません。確認させていただいて、間違っていれば次回に差し替えをさせていただきたいと思います。1 月が特にすごく少なかったという感じではなかったと思います。

(会 長) そんなに極端に少ないはずはないということですね。

(事務局) データ的におかしいところがあるかもしれませんのでまた確認させていただきます。申し訳ございません。

(会 長) 了解です。はい、どうぞ。

(諸井委員) 駐車場の件ですが、リーパスプラザでいろいろな行事があっていると車が一杯で入れません。車で駐車場が一杯で、向こうも全部一杯、そうすると帰るという方が私も含めていると思います。行事の多いときは割と来館者数が少ないというふうに考えられるんじゃないでしょうか。私は何回か帰ったことがあります。

(会 長) なるほどですね。

- (諸井委員) 市役所に停めてもいいんですけども。
- (会 長) いろんなイベントが重なったりするときにこういうことが起こりうる、それがたまたま1月に集中したかもという意味ですか。
- (諸井委員) 1月だけでなく他の月もです。
- (会 長) なるほどですね。そのあたり含めてちょっと調べていただければ良いと思います。ありがとうございました。他に気づかれた事、質問等ありましたら。碇委員さん。
- (碇委員) 先日、友人と話していたとき「図書館の玄関ってさびしいよね」という話が出ました。図書館の入り口は歴史資料館の入り口でもあります。歴史資料館の掲示板には国立の博物館とか他の県の催し物とかのイベントのチラシなどが貼ってありとても素晴らしいので、あれを1階に持ってくることはできないかということを友人が言うておりました。2階に行かないとお知らせが見られません。両方の玄関でもあるので、1階のほうにもお知らせやチラシなど置いてはどうでしょうか。図書館に関するチラシもソファのある階段の下のわかりにくいところにあるので、前に出してくると、来られた方の目にとまって、いろんな情報がお伝えできるんじゃないかなと思います。
- (会 長) 今の御意見、御提案について何かもしありましたらどうぞ。お願いします。
- (課 長) 御意見ありがとうございます。実は、歴史資料館のほうも若干来館者人数に苦勞しているところがありまして、上は上としてしっかりさせていただきたいと思っております。なかなか2階に上がってこられることが少ないように思うので、2階に誘うという意味では、今のままの取り組みをさせていただきたいと思います。確かに広い割には物が少ないかなというところもあります。今御意見をいただきましたので、今後検討させていただきたいと思います。よろしくお願いします。
- (会 長) ありがとうございます。その他の件で気づかれたこと。数字を見るだけでということはあるんですけどね。どうぞ。
- (副会長) 建物の構造はどうしようもないんですけども、本来ならば、リーパスプラザの入り口と図書館の入口は一緒になっておかないといけないですね。中に入って二つに分かれるんだったらいいんですが、出口が別々ですから、別なところという感じで人の流れが分断されるかなと思います。
- 今も催しがあっている時にはされているとは思いますが、リーパスプラザの中に図書館や歴史資料館の催し物のお知らせをしないと、人の流れからいって、リーパスプラザに行って、帰りに図書館でも寄ろうかというところが、そのまま帰られているんじゃないかな、もったいないなという気持ちをいつも持っています。図書館に来られる方がリーパスプラザに行くこともあるでしょうけれども、やっぱり1番の大きな集客力、たくさん集まってくるのはリーパスプラザですから、人を誘導するような何かが必要かなと思います。

(会 長) 淀委員さんどうぞ。

(淀委員) リーパスプラザから図書館の建物につながる 2 階の通路があるんですけども、とてもわかりにくいです。去年も申し上げましたけれども、「図書館はこちらです」というような、玄関のところから図書館のほうに向かう大きな矢印が欲しいと思います。

(会 長) 亀川委員さん。

(亀川委員) 私も同じ意見です。先日、成人式がありました。あの時は、成人式もどこであっているのかがよくわかりませんでした。図書館は閉まっている状態で、交流館、リーパスプラザに入るところもよくわからず、全体の入り口がはっきりしませんでした。成人式を個人的に拝見したいなと思って行って、その後図書館も寄ろうかなと思ったら、図書館も閉まっ

ていてそのような残念な状況だったので、何かはっきりとわかるといいなと思います。
イベントに関してもそうです。駐車場がいっぱいだけれども、古賀市で何があっているのか、そういうのも含めてよくわからなかったです。

(会 長) ありがとうございます。施設のレイアウト、位置関係はもう変えることはできませんので、今ある状況のなかでどう工夫して集客するか、広報、案内をしていくのかということですよね。今のような御意見がもしあれば、入館者数等の数値で関係していますので、こんなふうにしたらという意見がございましたらどうぞ。「もっとわかるように案内を」という意見がありましたね。この件については、よろしいですか。人数を見ながらあるいは数値データを確認したわけですが。はい、どうぞ。

(村山委員) 図書館の利用状況が毎年下がり気味で大変心配しております。

11 月 10 日に小野小学校で「野幸山幸小野まつり」があり、私は午前中だけ参観に参りました。その中で、2 年生が「おてがみ 図書館のひみつ」と題して、プロジェクタで図書館の様子を写しながらいろんな図書館の良さを説明していて、「頑張っているな」と思いました。田舎のほうで図書館に遠いものですから、なかなか図書館の活用ができていないのではないかなと思っていたのですけれども、学校としても取り組んであるなと思いました。ちょっと惜しいと思ったのは、この「おてがみ 図書館のひみつ」の発表は休憩の後でした。休憩の前にやまびこ幼稚園のこだま組の発表と恵あおぞら保育園の発表があり、親御さんがたくさん参観していたのですが、終わるとさっと帰られてしまいました。小野小学校の児童の保護者の方も、わりあい以前より少ないような感じも受け、ご自分のお子さんの発表が終わられるとすぐお帰りになって、大事な「おてがみ 図書館のひみつ」のときにガラッとなっていて大変残念だったな、一番前の方に、幼稚園や保育園の保護者の皆さんがいらっしゃるときに見せたらよかったのにと後で思いました。どこも大変工夫をなさっているな、でも来館者が少ないのは大変さみしいことだなと思っています。

(会 長) ありがとうございます。すばらしい発表を機に、親御さん、保護者、地域の方も理解していただくチャンスだったということですよね。プログラムのあり方、広報の入れ方、

お知らせ、その辺りにもうちちょっと工夫が必要だったのかもしれませんがね。せっかく頑張ってくれたのに、という事ですね。はい、河村委員さん。

(河村委員) 話が元に戻るんですけども、図書館とリーパスプラザ、別々にあったものをつないでいるけれども運営上に支障、円滑にいかないところがありますね。

特に不便を感じるのは、隣のリーパスプラザで第九の演奏会等の大きいイベントがあったとき、全く駐車場が使えません。明らかに参加者が多いとわかっている場合に、図書館の裏のグラウンドを駐車場として臨時的に開放できるような仕組みはないんでしょうか。以前は使われていて、開放されていたこともあったような気がします。我々も第九に行った時に、車で一回来た人がまた市役所までバックして、リーパスプラザに行って、そうすると、図書館に寄ってみようかと思っても、気分的にも身体的にも余裕がなくなります。

この点を僕は明らかにお尋ねしておきたいし、もし使えないのであれば、使えるような方向で、市なり、施設なりと協議をしていただけないかと思います。

毎回というわけではないわけですから、車が入ってもいいのであれば調整をして、駐車場としてグラウンドを使わせていただきたいと思います。その辺はいかがでしょうか。

(会 長) 駐車場の拡大等の案件ですね。はい、お願いします。

(課 長) 直接の担当ではないので申し上げにくいのですが、図書館の裏の市立グラウンドは2年前に結構なお金をかけて整地しています。今は主に朝から昼ぐらいまでずっとグラウンドゴルフの方が利用されているんですが、車が入るとどうしてもぐちゃぐちゃになってしまいます。例えば、年に2回ぐらい出初め式などではグラウンドにポンプ車などを乗り入れているんですが、その後消防団が皆でトンボ掛けを何時間もやっています。お金かけて整備をしていただけるのであれば駐車場として開放してもいいという話ですけども、ただ、本当に皆さんが困ってらっしゃるのはわかっていますので、以前使っていたということもあり、そういうイメージがあるので、市としても検討はさせていただいております。

今日明日という話にはなりません、できるだけ開放、半分なりとかということになるかもわからないんですけども、協議自体はしているんですが、利用者もおられることですので、なかなか協議が進んでないという状況はあります。正直私は図書館の担当なので、そういったときは開けてほしいなと個人的には思っているんですが、私の一存で開けるわけにもいきません。利用頻度も考えて、今後の利用については協議をしているということで御理解いただければと思います。

(会 長) なるほどですね。グラウンドの利用者の件と、一方でまた使った後、舗装されていませるので、当然轍が出てきてしまい、それを整備しなければいけないという難しさもあるということですね。河村委員さん、どうでしょうか、一応それも含めて検討していただきたいということの良いですかね。

(河村委員) 何か半分とか、この辺だけを舗装するとか、妥協案はないんですか。最近リーパスプラザではいろんな催し物結構ありますよね。「グラウンドゴルフやるからだめ」ではなく、半分までいかなくても3分の1ぐらいでも、検討して協議して、こっちのゾーンだけは開け

るようにしようとか、舗装して車でも入れるようにするとかできないでしょうか。公の施設なんだから、あれだけのスペースがグラウンドゴルフだけじゃもったいないと思います。文化課長さんの担当の問題ではなく、全体への効率的な市の財産の運営方針として、もう少し検討できるのであればお願いします。図書館協議会からもそういう声が出ているということで、検討して柔軟に何らかの方法はないのかということをお伝えいただければと思います。

(会 長) またそれは検討していただけたと思います。図書館協議会の委員として、図書館の利用者という観点から、一度再考願えないでしょうかということですね。イベントの重なりももちろんありますけれども、平常の利用促進の上からでも、検討、再考をというところでよろしくお願いします。それ以外で何かございましたら。それでは、ここまでで事業報告関係と、利用者数、貸出状況の確認、協議を終わりたいと思います。

(2) 今後の運営について

(会 長) 次に、協議題に入っていますが、資料 3、令和 2 年度の図書館運営方針、活動目標。これについて、御説明をお願いいたします。

(事務局) 令和 2 年度図書館の運営方針と活動目標を御覧ください。図書館の運営方針を三つあげておりますが、これは古賀市立図書館の根幹となり、変えておりませんので御覧ください。

下のほう、令和 2 年度の活動目標については、次の 6 つを挙げております。

○市民のニーズや地域の課題に対応したレファレンス・サービス(情報提供等)の実施について。

レファレンス・サービスにつきましては、図書館サービスの中でも最も重要なサービスの一つだと考えております。しかし、どんなことが相談できるのかということが意外と知らない方も多いように思われますので、「こんなことでも聞けますよ」というような事例を幾つか紹介するなど、ホームページ等を活用しながら、周知に努め、多くの方に利用していただき、市民に役立つサービスが提供できるように努めていきたいと思っております。

○郷土・行政資料の収集・保存、利用者への情報提供の実施。

これも数年来目標として挙げているものになります。古賀市にしかない資料を収集し提供することは、古賀市立図書館でしかできないことになります。収集に当たりましては、市役所の他の課への周知を行い、連携、協力を仰ぎながら実施しているところです。市民の方の協力も得ながら、引き続き実施したいと思っております。

○「第 3 次古賀市子ども読書活動推進計画」を踏まえ、家庭・地域、読書ボランティア団体、学校等と連携した読書活動の推進。

こちらの計画は平成 29 年度に策定しており、その計画を踏まえて、各関係機関と連携した子どもの読書活動の推進を考えているところです。令和 2 年度も引き続き、こちらの古賀市図書館協議会の中でも、進捗状況を管理していきながら進めていきたいと考えております。平成 31 年度は私立の保育園や幼稚園等に調査対象を広げて実施し、独自の活動など、初めてわかってきたところもありましたが、令和 2 年度につきましては、読書ボランティア団体や地域コミュニティについても調査できたらと考えております。

図書館としましては、各種おはなし会や映画会、セカンドブックや子ども読書の日のイ

ベントなど、子ども向きの講座も引き続き行い、英語でおはなし会、子ども科学実験、プログラミング教室のように、新たなニーズにも対応しながら、検討していきたいと思っております。

○「読書ボランティア養成講座」、「暮らしの講座」、「図書館まつり」等の事業の実施。

利用状況が年々減少している現状がありますので、事業をきっかけに図書館を利用していなかった方にも来ていただき、読書に興味を持っていただけたらということで、市民のニーズに基づき、地域の課題に対応した講座を実施していきたいと考えております。

○福岡県内各公共図書館等及び国立国会図書館との相互ネットワークの活用。

福岡県内の公共図書館、あるいは国立国会図書館との相互ネットワークを活用し、資料の相互貸借を行い、古賀市立図書館にはない資料でも取り寄せ、読書を楽しみ、調査研究を進めるための資料を提供していくとともに、図書館に必要な情報も収集し、図書館運営にも生かしていきたいと思っております。

○学校図書館市民開放用一般書の配本による学校開放支援。

こちら推進計画における学校との連携に関連してきますけれども、学校図書館における市民開放用一般図書の配本については、教育総務課、学校教育課との連携として、進めておりますが、こちら引き続き取り組んでいきたいと思っております。

以上が令和2年度図書館の運営方針と活動目標になります。

(会 長) ありがとうございました。

1点目は、図書館の全体的な運営方針三つ、これは「これまでどおりで変更はありません」と言われました。

次に、活動目標として、6点挙がっています。1点目、レファレンス・サービスの観点、あり方。2点目、地域資料の収集保存にかかわること、3点目は、読書活動の推進、充実という観点、3点目は、子どもの読書活動ということですね、4点目が、各種イベントの実施、充実と、5点目が、他の館とのネットワークですね。最後が一般書の学校開放支援といえますか。その観点で、という具体的な活動目標が上がっています。

この件について、御質問、御意見等お願いします。はい、どうぞ。諸井委員さん。

(諸井委員) 郷土・行政資料の収集・保存、利用者への情報提供のところですけども、この中には古文書とかもあると思います。こういうのを、皆で勉強するとか、そういうような私たちというのは考えていらっしゃるのでしょうか。

(会 長) はい、お願いします。

(課 長) 古文書は図書館で集めているのではなく、歴史資料館で集めさせていただいています。これはデータ化するなどして、できるだけ公開できるような形にしていこうと思っております。講座等につきましては、どちらかと言えば資料館の内容になりますので、できるだけそういった企画もしていきたいと思いますがそのときはよろしくお願いします。

(会 長) よろしいでしょうか。

(諸井委員) 資料館にしても、図書館にしても、図書館と資料館のなかだけでなく、リーパスのほう
が人も多いですので、リーパスの方に大きい看板を置いたら良いと思います。

(会 長) 「やっているよ」という広報をもっと大々的にしていっていいのではないかといいことですね。交
流館に看板を出すとか、広報とか、何か工夫がいるのではないかといい意味ですかね。他
にございませんでしょうか。活動目標について今具体的に言われましたのでそんな観点で
何かありましたらどうぞ。

先ほど村山委員さんのほうから利用状況の停滞化について、イベントにせよ、日々の活
動に工夫、アイデアを出し合っていくこと、それをまた知らしめていくことがもっと大切
じゃないかなという部分も指摘がございましたけども。何か。諸井委員さん。

(諸井委員) 本を並べる場所をちょっと変えてもらったらどうかと思います。分類毎にではなく、例
えば岩波ブックレットを集めて並べるとか。あっちに行き、こっち行きして探さないとい
けませんか。いろんな興味関心を持つ方がいらっしゃると思いますので、全部置いてあつた
ら、見やすいし、手に取りやすいのではないかと思います。並べ場所を変えてみるという
のは結構大事なんじゃないかなと思います。

(会 長) 書架の並べ方の件ですね。分類は分類であるわけですが、利用者の側に立って、特
集的にコーナー等を手に取りやすいように工夫して、一つに並べると非常に利用しやすい
のではないかといいことですね。その辺りのことも考えていただけたらとの意味ですかね。
その件について、事務局のほうで、今検討しているところがありますというようなことが
もしありましたら御紹介いただければと思います。

(課 長) 書架の並べ方につきましては、司書が一生懸命考えまして、わかりやすいように、そし
てルールにのっとってやっております。改善点等も必要かと思うので、具体的に教えてい
ただけると、今後検討させていただきます。そのとおりになるかどうかはわかりませんけ
れども、また具体的にお話をいただければと思います。ご意見箱のようなものに入れてお
いていただけたらすると、実現できるやもしれませんので、お願いしたいと思います。

(会 長) 「意見箱みたいなものにどうぞいろんな意見を出してください」という事ですね。館内
の配置、レイアウト、そのあたりの工夫というのは結構されていると思い、感心してい
るんですけども、今のような声もぜひ検討してくださいということだと思います。他の件
で何かございましたら。

(副会長) 令和２年度の図書館の運営方針と活動目標については、本日御提示されて、令和２年度
の第１回目でまたお話されるというふうに思っております。

運営方針は変えようもない方針であって、活動目標になって改めて令和２年度の重点と
いうことがわかってくると思うんですが、文面だけ見ていると、昨年度の活動目標と余り
変わらないような印象を受けます。実際に説明されると、これに補足してお話されますか
ら力を入れる点がわかるんですが、活動目標にも令和２年度らしさが少し出てきてほしい
なという希望を持っております。

そうは言っても難しく、細かいところに及ぶのであれば、次の段階で具体的に令和2年度にはこういった取組をやってみますとか、改善点を示していますとかいう具体的な目標があればわかりやすいかなと思います。毎年変わらないような、しかしお話を聞くと変化があるようなという、もやもやとしたところが見えてくるので、そこをぜひお願いしたいと思います。

(会 長) 次の5月で、改めて説明があるんですかね。その辺りで一部修正等がありましたら、今の件を踏まえながら、今一度検討していただければと思います。他にございませんか。
基本的なところはこれで終わりますので、議題以外でその他という観点で何かございましたらどうぞ。

(副会長) その他ですけれども、部長さんの挨拶のお話の中で、議会で「まちづくりを支える図書館」について質問があったということです。具体的にそれに対する答弁というのはどんな感じだったのでしょうか。

(課 長) 近年、「図書館を核としたまちづくり」ということをうたってまちづくりをされている市町村があり、そういったところを捉えて「古賀市ではどうですか」という質問がありました。今後駅前の開発等に取り組むことになっていきますので、今後検討してまいりますということで「今まさに検討中」ということでお答えしております。

(副会長) まだ具体的な答えではないということですね。古賀駅からリーパスプラザまでをつなぐところは、非常に人通りも多く、やりようによっては非常に今、まちづくりの本当に核になるところなんですね。大きなところでは図書館単体では答えにくいことだと思うんですが、先ほどの駐車場の問題も含めてこれは大いに関連があるところだと思います。

全国でまちづくりをされているところの中には、図書館に来てもらうと同時に、町の中でミニ図書館をつくるという運動がされていますね。例えば酒屋ならばお酒に関する本を並べて、市内のいろんなお店にも少しずつ本を置いて、そこと図書館が連携していますということで、まちづくりの一環としてされているところもあると聞いています。それをすぐ古賀市もやってくださいというわけじゃありませんが、私が佐賀に行ったとき、佐賀まちなか図書館というのが図書館の入り口に置いてあるのを見ました。いろんな町のお店の中に専用本棚を置いて、「町中に数多くのミニ図書館をつくる取組です。各店舗それぞれのテーマで本を並べております。すきなお店でくつろぎながら本を楽しんでください」というのを図書館に置いてあるんですね。これでどれぐらいの読書人口が一遍に広がるかはわかりませんが、雰囲気づくりはできるなと思いました。

まちづくりの大きなことは、市の政策にかかわることで図書館だけではできませんが、アイデアを凝らせば、少しまちづくりに貢献できるものも何かあるんじゃないでしょうか。これがこのままというわけではありませんが、取組の中では「おもしろいな、やってみたいな」とか。古賀の場合は、例えば、それぞれの集会所とか、公民館とも連携できるかなとか、学校図書館の開放で図書館も関わっているから、こういった面の特色をさらに強く強めてみようかということもあれば、まちづくりの一環として図書館の活動でできる部分がもっとあるんじゃないかなということを思いました。

(会 長) なるほど、町の至るところにミニ図書館があるというような取組が今の佐賀の実践からも見えてきますね。はい、どうぞ。

(亀川委員) 各地域には地域文庫があり、「ミニ図書館」と言って鹿部区でも宣伝をしておりますので、ぜひ活用してほしいと思います。こじか文庫は始めて 30 年になりますが、地域に根差した居場所づくりとして立ち上げました。今、育成会さんとの協力でいろんな企画をして 1 年間を通して行事が入っています。私は福祉委員もしているので、先日、地域の福祉会のとときに読み聞かせとブラックシアターなどを 1 時間ぐらい 2 人でやってみました。すると高齢者の方が「ぜひ来年度もやってくださいということ」で声をかけていただきました。

ミニ図書館の話が出た中で、身近に絵本や本を置くというのは良いなと今聞いていて思いました。文庫活動の方々にも参加していただいて何かできればと思います。まちづくりの中で、地域文庫がありますことをぜひ宣伝していきたいなと思います。

(会 長) 本当に大事なことですね。これまで歴史のある地域文庫の活動を広げ、さらに活用すればいいし、活かしていく場があれば、地域だけでなくもっと広がっていくのではということですね。ありがとうございます。

その他、ぜひともということがございましたら最後になりますが、どうでしょうか。

(河村委員) 先ほど、ビブリオバトルについてたくさんの意見が出ましたので私は差し控えたのですが、最後のチャンスとして申し上げます。後半の意見の多くが、「競争的な色彩を強く出さないほうがいいんじゃないか。バトルという言葉もどうか」という意見でしたが、私も非常にそう感じています。むしろ最近読んだ本や、かつて読んだ本をお互いに持ち寄って、皆で良さ、楽しさ、素敵さを紹介し交流し合う、読書サロンの場として位置づけたら良いのではと思います。子どもであれ大人であれ、あの短い時間で内容を深くして、評価されてバトルと値するようなものが、到底、物理的、時間的にできると私は思いません。

私自身、大学時代に大学生の読書会を 1 年から 4 年まで主宰してきて、非常に深いものをそこから受け取ることができました。1 番大事なものは、本当にいろいろな内容を、異なった見解、人生観、生き方、年齢の多様な人々が持ち寄って、分かち合うことです。多様なものを包み込むような場というのはまだ少ないのではないかと思います。図書館の本の貸出しだけではなく、本や知的なものを利用するような場をもっとつくらなければいけないのではないのでしょうか。

これから成人していく子ども達が、図書館のいろんな活動を通じて成長していくことは非常に重要なことです。私が図書館協議会の最初から申し上げて、最後まで取り上げられなくて残念だったのは、むしろ大人の読書会です。厳しい社会で定年を迎えてほっとして、「さあ、今から図書館に行こう、自分の楽しい人生最後のことを掘り下げてやっていこう」というときに、大人が気軽に参加できて内容が充実しているような、大人の読書会の必要性を僕は 3~4 年前の会議からずっと話してきました。その時に取り上げられなかったのはなぜかと今でも思っているんですが、一つは大変だからと図書館のほうで思われたのかもしれないですね。

ちょっと長くなってもいいでしょうか。例えば、かなり前になりますけれども、私が留

学していたオーストラリアでは、ラーニング・エクスチェンジという組織があつて、学んだことを持ち寄って、お互いが同等のレベルで、本や読書、人生の事を話し合うような、自主的なやわらかいグループがメルボルン等にはたくさんできていて、ああ良いなあと思いました。ラーニング・エクスチェンジ、学んだことをお互いに相互に交流する、分かち合うということは良いなあと思いました。

ビブリオバトルもいいですが、図書館が全部お膳立てしようと思うと大変なのであつて、むしろ、「そういうことやりませんか」と市民の方に呼びかけて、市民のボランティアの中には有能な方、そういう場がないかなと思っている方もいらっしゃると思います。その人たちが集まって自主的な運用をして、実際に日にちを決めたりするのも、その自主グループがどんどんやっていると良いと思います。図書館としては基本的なバックアップをして、施設を貸し与えたらよいと思います。自主的なグループを大人の中にも、退職後や、40代、50代の方でも良いですが、もっと場を設けたら、本当は必要なのに、できそうなものになかなかできなくて、という一つの活動の分野になるんじゃないかと思います。

(会 長) ボランティアの方、有志の方による実行委員会でもいいんですが、大人が本を通して語り合う場、人生を語り合う場を設定することが大事ではないかということですね。図書館の職員の方々に全てということではなく、市民のなかに力がある有志の方がいるはずだということですね。またそのあたりも考えていきたいんですけども、どこまで我々が出せるかどうかわかりませんが、貴重な御意見ありがとうございました。

(3) その他

(会 長) この後は事務局から報告事項、その他の連絡事項がございますので、説明をお願いいたします。

(課 長) 前回少し触れたと思うんですけども、親子読書会の見直しについて御報告させていただきたいと思います。これまで、各学校の親子読書会はさまざまに活動され、本当にいろんな形で大切な役割を果たしてこられました。各学校の親子読書会の連合体が古賀市親子読書会ということになります。しかし、会員さん集めにも大変苦慮なさっておられ、活動自体、図書司書さんが本当に苦勞されているというお話もありまして、見直しという形になってきた経緯があります。今回見直しさせていただいたのが、各学校での活動は今まで通りそれぞれやっていただくという形をお願いをしまして、今まで1番大変だったと言われる連携事業については、古賀市親子読書会の会則の中で、「古賀市親子読書のつどい」をやります、連絡会をやりますという規定がありました。今回この会則を廃止させていただくことにしまして、連携事業、「古賀市親子読書のつどい」については今回でやめるという形になっております。

図書司書さんと代表の方が来られる連絡会というのも、私たちが招集してという形でやっていたんですけども、図書司書さんについては組織上、我々の指揮命令下にはないので、呼び出すのもどうだろうということで、図書司書さんについては各学校の子ども達を時間中にしっかり見てほしいということもありまして、その連絡会等を廃止する形になりました。

今後、図書館としてはそれで縁が切れるという訳ではなく、団体登録をして直接こちら

のほうに来ていただくとか、図書館まつり等の御案内をして、参加していただきながらという形に変えていくということになります。

具体的な話につきましては、各親子読書会に文書でお知らせしまして、御意見がありましたらということで、1件、協議を2時間ほどさせていただき、御了解をいただいとというような形になりました。来年度からそのようにさせていただこうというと思っております。見直しの内容については以上です。

(会 長) 今の件、よろしいでしょうか。親子読書会の1月にやっているつどいはなくなるけども、連絡協議会的な意味は残しておきたい。そんな意味ですか。

(課 長) 連絡会もなくなります。「各学校でしっかり取組をしていただく、バックアップについては図書館はできますよ」という話です。今まで集まっていたのがすごく大変だったし、時間中に先生たちが抜けるという状況もありましたので、そういったことを今後はしませんが、図書館まつりとかに出たいということであれば出ていただくとか、そういう形で、図書館事業に参加をしていただくようなことでお願いをしております。

(会 長) それでは事務局のほうに渡します。

(事務局) ありがとうございました。最後に、会議録の校正についてです。お忙しいところ恐れ入りますが、今回は、亀川委員さんと諸井委員さんお願いしてもよろしいでしょうか。ありがとうございます。

 次の開催日ですが、新年度5月に毎年開催させていただいております。火曜日がいつも開催日になっておりますので、5月19日の火曜日か26日の火曜日、まだ先になりますが、今のところ都合の悪い方いらっしゃいませんか。

(会 長) それでは、5月19日火曜日、26日火曜日の二つの案、14時からですがけれども、御都合の悪い方、言ってください。どうぞ。

(亀川委員) すみません、その月いないので出席できません。申し訳ありません。

(会 長) はい。その日ではなくその月いらっしゃらないんですね。5月そのものは変えられないでしょうかね。

(事務局) そうですね。

(会 長) その他この日はだめという方、言っていただいて。なければこの後で二つのところから選ぶという形になりますが、第1案19日で第2案26日と考えていいんでしょうかね。この部屋のことは問題ないんですね。

(事務局) それでは19日ということでよろしいでしょうか。

(会 長) どうでしょうか。よろしいですか。それでは、次回 5 月 19 日火曜日 14 時、ここでという形になりますね。その他に事務局のほうでございませんでしょうか。

(事務局) つけ加えまして、図書館協議会委員の皆さんの任期が 2 年間ということで、7 月末までになっております。5 月の協議会が最後の会議になりますのでよろしくお願いいたします。

(会 長) わかりました。私たちの任期が、今年の 7 月までなので、よって 5 月の会議をもって会議としては終了するという流れですね。最後の会に次回はなりますよということですね。それ以降はまた、新しい方に任期がありますのでね。これ 2 年ですよ。

(事務局) はい。

(会 長) はい、わかりました。それでは以上で協議関係は終わりますので、事務局のほうにお渡しします。お願いします。

(事務局) 鈴木会長、久池井副会長、議事進行ありがとうございました。

(会 長) 皆さんどうもありがとうございました。

5 閉会のことば

(事務局) では最後に閉会の言葉を図書館長の久保田より申し上げます。

(館 長) 鈴木会長さんをはじめ 8 名の委員の皆様、熱心に御協議いただきまして、本当にありがとうございました。おかげで、何とか本年度の最後の図書館協議会を終えることができました。

残念ながら、時代的な読書離れに歯止めをかけることはかないませんでした。市民の知る自由を保障し、地域の情報拠点として、市民の暮らしに役立ち、豊かな心を育てる、そういう図書館の役割というのは、ゆるぐことがないというふうに思っております。

今後とも、市民とともに成長し、市民に愛される図書館づくりに御支援、御協力賜りますようお願い申し上げまして、閉会の御挨拶にさせていただきますと思います。

本日はどうもありがとうございました。